

# 平成 17 年度事業報告

期間 平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

## 総括報告

### ・在日外国人とセンターの役割

外国人登録者数は年々増加し、平成 17 年末には 200 万人を突破し、日本の総人口に占める割合は、1.57%となった。2 市 1 町の外国人も 17 年末で 3018 人（富士見市 1438、ふじみ野市 1155、三芳町 425）に達している。

これら外国人は言葉の問題や、風俗習慣、文化の違いから日常生活上、悩み事、トラブルを抱えた人たちも少なくない。

ふじみの国際交流センターはこれら外国人が日本人と差別なく生活できるよう、生活相談・多言語情報の発信・日本語学習支援等による自立支援と地域住民と外国人との協力・交流を促進し、異文化共生のまちづくりを目指し活動を続けてきたが、今後その役割は益々大きくなると思われる。

平成 17 年度のセンターの活動を総括し、併せ、今後進むべき方向、課題を挙げてみたい。

### センターの開放日数と出入人数

17 年度センターは 337 日間オープンし、ここで活動したスタッフは延べ 2428 名、来訪者は延べ 2625 名、合計 5053 名であった。この内外国人は 1040 名である。毎日 15 名の人がこのを訪れ、(1 日あたり 7.2 名のスタッフと 7.8 名の訪問者)そのうち 3 名が外国人であったことになる。

### 生活相談・シェルター

17 年度の生活相談件数は 512 件で 16 年度に比べ 5%増加した。2 市 1 町以外の 74%増加が特徴的である。

シェルターは、会員の好意で、今年の 3 月末まで独立した部屋が確保でき、県婦人相談センターの委託を受けて、DV 被害者に提供できた。18 年度も新たなシェルターを確保し、この事業を継続していきたい。

### ・「DV被害者支援ボランティア育成講座」

県男女共同参画課の委託を受けて開催した「DV 被害者支援ボランティア育成講座」はセンターのスタッフをはじめ、地域のボランティアに対し、有意義な学習の場が提供できた。

### ・「地域在住外国人女性のヘルパー資格取得支援」

フィリッパモリスジャパンの助成による「地域在住外国人女性のヘルパー資格取得支援」のプロジェクトは、近い将来外国人ヘルパーの導入が予想される中で、時代を先取りしたものとして重要な意義がある。5 名の外国人主婦が受講し、資格を取得した。その就職支援は今後の課題である。

### ・外国籍市民市政調査

ふじみ野市より外国籍市民市政調査の委託を受け、地域に在住する 7 カ国、13 人の外国籍市民から 3 回の懇談会を通じ、教育・保育・医療・生活全般について率直な意見や要望を聴取することができた。この調査が市政に反映されることを期待したい。

### 多言語情報提供

#### ・インフォメーションふじみの

インフォメーションふじみのは 17 年 11 月号で創刊 100 号を迎えた。日本語の不自由な外国人にとって頼りがいのある情報源として今後も継続して発行することが必要である。

### ・外国籍市民のための生活ガイドホームページ

財団法人自治体国際化協会より平成 17 年度先導的施策支援事業として助成を受け、「外国籍市民のための生活ガイドホームページ」を制作し、18 年 3 月より公開した。

このホームページは日本語に加え、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語の6ヶ国語で、日本で生活する上での実用知識を掲載したもので、富士見市、ふじみ野市、三芳町の全面協力を得て、各自治体の外国人向け行政サービスの内容、窓口部署などの最新情報が提供されている。

#### 外国籍児童生徒の学習支援

兼ねてより、センターと地域の日本語教室は、連携して2市1町の教育委員会に小中学校での児童生徒の学習支援の必要性を提言し、実行してきた。三芳町教育委員会はその必要性を認め、17年度から日本語教室に正式支援依頼をし、ボランティアに対する謝金の支給制度を設けた。富士見市及びふじみ野市も18年度から同様な制度を採用することとなり、外国籍児童の学習支援が軌道に乗ることが期待される。

#### 外国語教室

外国語教室は中国語、韓国語、英語、ポルトガル語に加え、タイ語の教室がスタートした。ペルシャ語は講師が病気のため、今期は休講となった。

外国人が日本人に自国の言葉を教えながら、お互いに交流できる場所であり、同国人同士の出会いの場所ともなっている。

#### 国際わいわいクラブ

これまで国際青少年育成振興財団との共催の事業として行われてきたが、17年度はセンターの自主事業となった。

キャンプを含め8回のイベントに302名(スタッフ15名を含む)が参加し、青少年の健全育成の場として役割を果たしている。

運営資金は参加者からの会費のみになったが、不足分は会員の指定寄付金で賄った。

#### 国際理解教育

##### ・小中学校での国際理解教育

小中学校からの総合的学習の時間による国際理

解教育の依頼が大幅に減少した。これは、学童の学力低下がゆとり教育の結果だとの見解から文科省の指導方針が変わったためと思われる。児童生徒の自主的な思考能力を育み、併せ国際感覚が身につく国際理解教育が後退することは大変残念なことである。

##### ・国際理解講座と講師派遣

鶴瀬公民館の市民大学講座「韓国の過去・現在・未来」の企画、実施に協力した。

国際理解、人権、NPO等をテーマにした講師派遣件数は15件、その他富士見市職員研修が特記される。

##### 大学生・高校生インターンシップ研修

埼玉大学、中央大学、札幌国際大学からの大学生及び県内高校生のインターンシップ研修の受入を行い、学生たちに貴重なNPO体験学習の機会を与えることができた。

##### 国際交流イベント

17年度にセンターが主催又は参加した主な国際交流イベントは13回であった。その内訳は、センターが主催したイベント3回、富士見市、ふじみ野市および両市の公共機関が主催したイベント9回、その他3回であった。

通常総会にあわせ、センターが主催した元気フォーラムには112名が参加した。

また、平成13年に始まった旧大井町委託の国際ミニ交流会は61名の参加を得て終了した。

##### 県及び市町内のネットワーク

埼玉県、(財)埼玉県国際交流協会、並びに県内NGO/NPOとのネットワーク会議、2市1町のNPO法人のネットワーク及び日本語ボランティア連絡会に積極的に出席し、情報交換と連携による協働事業に参加した。

##### DV被害者支援ネットワーク

新たに県内の外国人支援団体間でDV被害者支援ネットワークを結成し、3回の連絡会を持った。

#### 荻野吟子賞受賞

埼玉県が男女共同参画に顕著な功績のあった団体及び個人を表彰する第1回荻野吟子賞の団体賞を受賞した。

#### 経済同友会来所

経済同友会が「在日外国人の支援、多文化共生など、社会的な課題に取り組むNPOの活動を知る」目的で、視察先の1つとしてセンターが選ばれ、18人のメンバーがセンターを訪問した。

#### センターの移転

旧センターは、駐車場が完備している以外は駅からも遠く、家賃負担が大きく、財政上大きな負

担となっていた。そこで、新たな拠点を探し、平成17年12月に現事務所に移転した。新事務所は家賃が約1/3節減でき、駅からも近く外国籍の人たちにとっても利便性が増加した。

#### センターの組織運営

17年7月1日付でセンターの理事は4名が勇退し、新たに、4名が選任されたが、その内2名は外国籍と日本に帰化された外国出身の理事である。

また、理事互選による副理事長、常務理事の選出と新たに事務局長を任命し、組織運営の強化を図った。

## 個別事業報告

### 1. 生活支援

#### 1-1 生活相談

##### (1) 種類別相談件数

種別	内 容	件 数				
		富士見市	ふじの野市	三芳町	その他	計
医療	医療費、病院での応答、入院、病院への同行	15	3	5	7	30
家族	離婚、夫婦間問題、DV、交際相手、子ども	30	32	7	19	88
教育	学校への書類代筆・連絡、学習支援、入園手続	64	58	32	8	162
言語	日本語支援、翻訳、通訳	7	13	9	5	34
司法	裁判関係書類作成、税金、法務局への同行	3	4	3	1	11
住居	住まい探し、保証人	9	6	0	6	21
生活	生活費、生活保護、近隣との関わり、事故、年金・国保の手続き	18	25	6	17	66
入管	ビザ、外国人登録証申請更新、帰国	4	9	3	19	35
労働	求職・求人、会社とのトラブル	16	6	2	4	28
その他	ボランティア希望、友達がほしい	13	17	6	1	37
		179	173	73	87	512

## (2) 月別件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
富士見市	30	15	15	14	16	15	9	20	9	15	12	9	179
ふじみ野市	8	9	17	10	14	14	11	16	12	27	23	12	173
三芳町	4	4	5	5	7	10	5	6	12	5	6	4	73
その他	7	10	5	2	12	10	8	8	4	14	3	4	87
計	49	38	42	31	49	49	33	50	37	61	44	29	512

(報告者 富士見市広木、ふじみ野市長谷川、三芳町鈴木)

## 1-2 シェルター

## シェルターの利用実績

	9/28～10/5	11/9～12/10	1/16～2/11	3/7～3/31	計
日数	8	32	27	25	92
利用者数	3 (親子)	2 (親子)	2 (親子)	2 (親子)	9
累計 人・日	24	64	54	50	192
スタッフ数	4	6	4	6	

(報告者 石井)

## 1-3 翻訳

内容：生活相談に関係した翻訳依頼は次の通り。

出生証明書、婚姻資格証明書及び

結婚契約書等 38件

養子縁組、子どもの認知等 13件

戸籍謄本 7件

その他 7件

計 65件 (報告者：阿澄・荒田)

## 1-4 DV 被害者支援ボランティア講座

内容：センターの生活相談では外国人妻の DV 被害者からの相談が少なくない。そこで今回埼玉県婦人相談センターの委託を受け、DV 被害者支援ボランティア養成講座を実施し、併せ、生活相談スタッフの学習の機会を持つことができた。

日時：9月13,20,27日,10月26日 PM1:00～4:00

場所：ふじみ野交流センター

主催：埼玉県 後援：富士見市・ふじみ野市・三芳町

参加者：各35名 (報告者 広木)

## 1-5 在住外国人女性のヘルパー資格取得支援

内容：フィリップ モリス ジャパンの助成を得て、地域在住の外国人女性を対象にホームヘルパー（二級）資格取得支援プログラムを立ち上げ、その自立にむけた支援体制の構築を図る。

実績：外国人妻のヘルパー研修の受講者を募集し、5名の応募者に文京学院大学後期ヘルパー養成講座を受講させ、その学習支援を行い、無事修了させることができた。外国人向け講座用テキストの作成 4月末原稿完成、5月末完了予定（スタッフ延べ41名が協力）。資格取得後のフォローアップ（就職支援）

期間：17年10月～18年5月

(報告者 小原)

## 1-6 外国籍市民市政調査(ふじみ野市委託事業)

内容：外国籍市民から「教育」、「保育」、「医療」についての意見を聴取し、行政ニーズを把握すると共に、外国籍市民施策の方向性を明らかにすることを目的に市政調査の委託を受けた。

参加者：外国籍市民：延べ22名（中国3、フィリピン3、台湾2、韓国・ブラジル・ロシア・ベトナム・オーストラリア各1 計13名）

スタッフ：延べ23名

ふじみ野市役所職員等：延べ20名傍聴（学校教育課、社会教育課、小中学校、総務課、児童福祉課、保健センター）

実施スケジュール

第1回懇談会 17年10月26日(水)13:30～15:30

上福岡公民館 教育について

第2回懇談会 17年11月17日(木)13:30～15:30

西公民館 保育・医療について

第3回懇談会 18年1月15日(日)13:30～15:30

大井中央公民館 教育・保育・医療・生活全般について

（報告者 長谷川）

#### 1-7 パソコン教室・タイピング教室

パソコン教室

内容 外国籍市民及び会員・スタッフのパソコン技能習得

活動場所 センター

活動日数 32回

参加者 学習者 69名（延べ人数）スタッフ2名（青木、大関）32名（延べ人数）

パソコンタイピング教室

内容 外国籍市民及び会員・スタッフのパソコン技能習得

活動場所 センター

活動日 毎週日曜日 累計40回

参加者 基本的に希望者があったときに開催

平成17年度は、平成18年2月5日(日)に開催、4人参加

（報告者 青木・内藤）

## 2. 多言語情報提供

### 2-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

内容：2市1町及び近隣に在住する外国籍市民に一般市民と同様の情報が伝えられるようにするた

め

テーマ：4月 もしものときの 私の健康手帳、5月 487, 2004年の1年間に外国籍の方から受けた相談回数、6月 レッツ 健康診査、7月 人材バンクのことを知ってみませんか、8月 外国籍市民の本当の声を市政に反映させましょう、9月 地震です！身の安全・火の始末・避難場所、10月 新しい市が生まれました「ふじみ野市」、11月 公・私立保育所（園）児童募集が始まりまず、12・1月合併号 オーバースティの方におすすめます「自主出頭」、2月一人親家庭への支援制度 高校入学を待つ児童に支度金を支給します。

3月 外国語対応医療機関 ふじみ野市編  
発行回数、部数：11回（No.93～103）5,500部  
配布場所 2市1町の公的機関他、個人手渡し  
活動スケジュール：毎月20日ごろ企画会議、1日原稿作成、5日翻訳依頼、15日翻訳受領、16日発行

スタッフ 企画・編集・印刷・配布 7名、翻訳者6名（6カ国語）

特記事項 11月号で通算100号を迎えられたこと  
その他 18年6月号よりA-4版に変更予定

（報告者 岩田・長谷川）

### 2-2 生活ガイドホームページ制作

富士見市発行「生活ガイド6カ国語版」をもとにふじみ野市、三芳町の内容を加えて構成し、ホームページ化。

平成17年10月ふじみ野市発足後に日本語での内容を確定し、日本語以外の5カ国語への翻訳、ホームページ化作業を行い、18年3月初旬に公開した。総ページ数165ページのホームページとして公開している。（財）自治体国際化協会からの助成事業。

（報告者 内藤・荒田）

### 2-3 翻訳

富士見市 生活ガイド修正（5カ国語）広報（英語、中国語）、チラシ

三芳町 健康カレンダー、ごみ（5カ国語）  
（報告者 阿澄・荒田）

### 3. 日本語指導

#### 3-1 日本語教室

内容：地域に居住する外国籍市民に対する日本語学習指導

学習者は、基本的には日本語習得から日本語検定試験対策のための学習が目標とまちまち。

事務所移転後学習者は漸増の傾向、学習者の内訳は全くの初心者少なく、常連学習者が多い。中でも「日本語検定3級、2級」の受験者の意欲が目立っている。

活動場所：センター

活動日：毎週木曜日午前10時～12時（正月休み以外は無休）

活動日数：50日、学習者 325名（延べ人数）、スタッフ 340名（延べ人数）

アピール お花見会を弁天の森で行い、お琴の演奏、マツケンサンバ等盛りだくさんの内容で親善に成功。（報告者 岩田・長谷川）

#### 3-2 親子日本語教室

活動日：毎週土曜日

場所：大井中央公民館

17年度の教室開催回数は50回、ボランティアは11名、延べ221人、学習者は28名、延べ参加者数は119名でした。国別ではフィリピン13人、中国5人、韓国・ブラジル各3人、タイ2人、フランス・バングラデシュ各1人であった。

4月2日の花見会には学習者が8人参加した。

（報告者 鈴木譲二）

#### 3-3 取り出し授業

内容：小・中学校在籍外国籍児童・生徒の学習支援

富士見日本語サークル、みよし日本語教室及びセンターがこれら児童・生徒の学習支援を行っており、センターはふじみ野市内の小中学校3校4名・中学校2校2名に対し、学校での取り出し日本語

指導及び学習支援、在席教室内での入りこみによる授業補佐を行った。

活動場所：ふじみ野市内の小・中学校

活動日数・時間：週3～4日、3～5時間

スタッフ：梶・戸塚・津元、他

なお、2005年度2市1町の小中学校に在籍する外国籍児童生徒数は次の通りである。

小学校：富士見市35、ふじみ野市22、三芳町10名 計67名

中学校：富士見市9、ふじみ野市8、三芳町5名 計22名 （報告者 梶）

#### 3-4 国際子どもクラブ

内容：日本語がわからない外国籍児童・生徒の日本語指導

平行、継続して学習支援、定期試験対策等、高校進学等進路相談、保護者に対する助言を行った。

また、2市1町の外国籍児童・生徒の在籍調査（H.14年度より毎年実施）

活動拠点：センター

活動日数：毎週土曜日、夏休み・冬休み・春休み

参加者：児童・生徒土曜日延べ74名、夏休み延べ23名、冬休み・春休みはセンターの移転のため、参加者はなかった。

ボランティアスタッフ 梶・戸塚・白砂・津本・上原・後藤、他

費用 ￥39,591 寄付金・センター活動費

アピール 外国籍児童・生徒同士の出会い、協力の場でもある。（報告者 梶）

#### 3-5 日本語教材

新たに、ひらがなカード（清音・濁音・拗音）、ひらがな絵カード、カタカナカード（清音・濁音・拗音）、漢字カード、漢字カード（ひろこさんのたのしいにほんご対応）を作成。（A-6サイズ）

また、日本語指導ファイル～、ひらがなれんしゅう・カタカナれんしゅうを増刷し、各地の日本語教室に提供した。

（報告者 梶）

## 4. 語学教室

中国語、韓国語、英語、ポルトガル語教室に加え、タイ語の教室がスタートした。ペルシャ語は講師が病気のため休講となった。各教室の先生及び学習者の参加数は次の通り。

中国語教室 活動日は毎週金曜日 10:00～12:00、活動場所はセンター。参加者は先生延べ99名、生徒数438名であった。

韓国語教室 活動日は毎週月曜日 10:00～12:00、活動場所はセンター。参加者は先生延べ68名、生徒数延べ360名であった。

英語教室 活動日は4月～10月毎週土曜日、11月～3月毎週水曜日、活動場所 センター 但し、11～12月は上福岡西公民館。参加者は先生延べ21名、生徒数延べ299名であった。

会費月4,000円/4回

ポルトガル語教室 毎週火曜日 10:00～12:00、活動場所はセンター。先生1名、生徒数8名、延べ48名

タイ語 先生1名、生徒数延べ42名  
(報告者 澤野、大沢、阿澄、三矢、他)

## 5. 国際わいわいクラブ

内容 子どもの国際性・創造性・自主性を育むことを目的に、地域に住む日本及び外国籍の子どもたちに遊びを通じふれあいの場と時間を与える活動。平成17年のテーマは昨年に続き「世界に広げよう友達のWA!」である。

参加対象：小学校1年生～中学校2年生

スタッフ：15名

活動記録：日時、内容、場所及び参加者は次の通り。

## (国際わいわいクラブ活動記録)

日時	内容・場所	参加者
5月14日(土) 13～16時	第1回 世界がもし「わいわい村」だったら 「世界がもし100人の村だったら」の読み聞かせ、世界の現状を知り、自分のことや地域に目を向けてみよう。 場所 ふじみの国際交流センター	35人
6月11日(土) 10～16時	第2回 ビビンバを作ろう!(料理) 海外から輸入されている食材を使って料理を作る。 場所 ふじみの国際交流センター	39人
7月9日(土) 13～16時	第3回 夏だけドスケーターズ スケートで楽しい仲間づくり。 場所 東武川越スケートセンター	40人
8月5日(金)～ 8月7日(日)	第4回 キャンプ(自然体験) 自然の中で外国籍の子どもたちを交えた共同生活を体験 場所 国立磐梯青年の家	37人
9月10日(土) 13～16時	第5回 君も一人の消防士 放水体験もしました。 場所 富士見市ふじみ野小学校	31人
10月8日(土) 10～16時	第6回 中国への小さな旅 中国を発見する旅。日本の中の中国的な異空間を旅する。	29人

	場所 横浜中華街	
11月12日(土) 13~16時	第7回 わいわい運動会 世界のスポーツを体験しちょう 外国籍の人たちと一緒にわいわい運動会をつくろう。 場所 富士見市立鶴瀬小学校体育館	26人
12月10日 10~16時	第8回 ぼくらの町のわいわい探検団 地域に暮らす外国籍の人たちのためのマップづくりでボランティア活動。 場所 富士見市立鶴瀬小学校体育館	28人
2月5日	親わいわい	20人
	参加者合計(除くスタッフ)	285人

(報告者 小原)

## 6. 国際理解教育

## 6-1 国際理解教育

(国際理解教育活動記録)

月	日	学 校	月	日	学 校
5	20	富士見市富士見台中学校	6	21	富士見市勝瀬小学校
6	2	富士見市富士見台中学校	9	19	ふじみ野市駒西小学校4年
	9		10	31	ふじみ野市駒西小学校4年
	16				

## 6-2 富士見市民大学講座

テーマ：韓国の過去・現在・未来

内容：韓国をテーマに東大教授木宮正史先生を始めとして、同大学院博士課程の朴さんに歴史や文化について講義を受けた。また金文玉さんの料理教室で韓国料理3品の作り方を教えてもらった。

日時：18年1月14日(土)~2月18日(土)

10:00~12:00 全5回

場所：鶴瀬コミュニティセンター

参加者：富士見市民40名、スタッフ岩田、半田

(報告者 半田)

内容：富士見市役所の職員を対象に地域に居住する外国人に対する理解を深め、行政への反映を期待して研修を行った。外国人体験トランプ、外国人の話、共生社会を目指し、市民ができること職員にお願いしたいことなど KJ 法を用いて実施した。

日時：18年2月8日 1:00~4:00

場所：富士見市図書館

参加者：富士見市職員 30名 スタッフ 10名

(内外国人 4名)

(報告者 長谷川)

## 6-3 富士見市職員研修

## 6-5 講師派遣実績

月	日	場 所	テーマ	講 師
5	15	立教大学大学院	NPOについて	石井
6	11	大井町	人権講座	ビッキー、エレナ、クマーラ

	16	日高市武蔵台中学校		
	30	東大大学院 社会教育センター		チョチョアイ、鄭、石井
7	8	入間地区校長会議	外国人の人権	石井
	16	新都心ラフレ埼玉 ピ-スマツ	パネリスト	石井
	22	狭山市立狭山北小学校職員研修	外国人の人権	石井
8	19	川越市立寺尾小学校職員研修	外国人の人権	石井
	26	富士見市立上沢小学校職員研修	外国人の人権	石井
	31	埼玉県社会福祉研修会	外国籍の方への支援実際	石井
11	24	新都心ラフレ埼玉	入管会議	石井
	25	キラリ ふじみ	富士見市人権会議	石井
1	21	ふじみ野市西公民館	ボランティア講座	石井
	21	県民活動センター	NPOフォーラム	石井
2	8	富士見市職員研修		外国人4、日本人スタッフ6

## 7. インターンシップ

### 7-1 大学生インターンシップ研修

・ 埼玉大学経済学部 1~2年生 6名、2名×3チーム

期間：17年8月1日~9月30日 延べ44日間

・ 中央大学法学部 4年生 1名

期間：17年8月2日~8月20日

・ 札幌国際大学教授&1~2年生 5名

期間：18年3月22日~25日

### 7-2 高校生インターンシップ事業

3年目を迎えた埼玉県主催の高校生インターンシップ事業に参加。17年度わいわいクラブは不参加で、センターの日常体験のみとなった。

期間：17年7月28日、8月4日、9月12日の4日間

参加者：3名

## 8. 国際交流

### 8-1 HANARO 会

内容 外国籍の人たちだけの集まり。悩みを語り合い解決し、知らない情報を共有し、生活に生かそうという趣旨でできた会で、毎月第3月曜日午後1時から行われる。17年2月からスタート。  
活動実績：

第3回 4月25日(月)近所付き合いについて Part-1、総会のイベント協力など

第4回 5月23日(月)近所付き合いについて Part-2

第5回 第4回6月20日(月)いままでのHANARO会を見直す

第6回7月27日(水)バーベキュー大会

第7回9月26日(月)フィリピン料理

今後の方針 いろいろな国の人を集めると意見をまとめることが難しい。また、参加メンバーは生活に問題のない人がほとんどで、参加者が少なく休会中。対策検討中である。

### 8-2 国際スポーツクラブ(篠島)

内容：外国人が気軽に参加できるスポーツ(レクリエーション)の場を提供するため日本人を含めたバスケットボールの練習を年間通して開催(週1回)する。

日時：毎週日曜日 19:00~21:30

場所：ふじみ野市立福岡中学校

対象：地域住民(日本人・外国人)

成果：活動は安定してきたが、外国人に対する告知が不足している。

## 9. 国際交流(イベント)

## 9-1 世界の遊び

内容：こどもの日のイベント。市内の子どもたちに世界の遊びを教え、異文化体験をさせる催し。当日は中国と韓国のおそびを紹介した。

参加者：市民とその子ども 45名 スタッフ3名(内外国籍又は外国出身者各1名)

日時：17年5月5日(木) 10:00~17:00

場所：フクトピア

(報告者石井)

## 9-2「つるせ公民館まつり」にバザー参加

日時：5月27日(土)

場所：鶴瀬公民館中庭

スタッフ参加者：4名(広木、青木、佐野、芳野)

(報告者広木)

## 9-3 元気フォーラム

開催趣旨：「外国人も日本人も元気フォーラム」、「地域の外国人と一緒に未来を語りませんか」をテーマに、設立以来9年を迎えたセンターの活動を、会員を始め、一般市民の方々に紹介し、一層の理解と支援・参加をお願いする目的でイベントを計画した。なお、当日午前中に通常総会を開催した。

日時：17年6月5日(日) 12:30~16:00

場所：ふじみ野交流センター

## 第1部 6カ国料理で和気あいあいパーティー

台湾 焼きビーフン、韓国 チヂミ、ミャンマー 野菜スープ、フィリピン 煮豚、タイ 春巻き、ネパール ジャガイモのソテー

## 第2部 センターの活動紹介

FICEC 9年の軌跡と活動紹介(パワーポイントによるプレゼンテーション)

各担当者による報告 外国人の人権擁護と自立支援(戸塚成子) 国際理解教育と国際交流の推進(長谷川正江、鄭玄淑) 多言語情報の収集と提供(岩田仁) 外国籍児童並びに成人への日本語指導(梶加寿子) 子どもの健全育成(青木沙

織)

## 第3部 各活動について語ろう

生活相談・HANARO会(在日外国人の集まり) 国際理解 多言語情報誌 取り出し・子どもクラブ・日本語教室 わいわいクラブ

当日の参加者：112名 スタッフ35名、一般市民77名(外国籍13名、日本人99名；会員45名非会員67名

(報告者 小原)

## 9-4 ピースフェスティバル(富士見市)

内容：富士見市主催のイベントにユニセフから借用したパネルを展示、センターに關係する外国籍の方々の写真も紹介し好評であった。

日時：17年7月15,16日 10:00~16:00

場所：キラリ ふじみ マルチホール

(報告者 広木)

## 9-5 第23回 2005年7月16日「ピース・トーク・マラソン2003-2007 in 埼玉」

内容：国際協力機構(JICA)が市民の方々とともに、「平和」と「国際協力」について考えるために、2003年8月から2007年3月まで3年半の時間をかけて、シンポジウムという形で47都道府県を一回ずつ巡回するイベントを行っており、昨年は埼玉県が舞台となった。パネルディスカッションでパネリストの1人として石井理事長が参加し、たくさんの人たちに外国人の実情を知ってもらうことができた。

場所：さいたま新都心 ラフレさいたま

参加者：一般県民400名

(報告者 石井)

## 9-6 バーベキュー大会

内容 楽しい交流の場を提供し、なるべくたくさん在住外国人に気軽に集ってもらいたいという趣旨で計画したイベント。ウイークディのためか参加者がよそうより少なかったこと、交流の時間が少し足らなかったことが反省点であった。

日時 17年7月27日 10:00～14:00

場所 大井町野外広場

参加者 大人19人、子ども11人、スタッフ3人

#### 9-7 上福岡七夕まつり

内容：ふじみ野市（旧上福岡市）主催の七夕まつりにタイ・フィリピン・台湾の外国料理の店を出店、併せて国際交流を促進する目的

日時：17年8月6、7日（土、日）午後

場所：上福岡中央公園

参加者：タイ7名、フィリピン9名、台湾3名、日本人スタッフ4名計23名

（報告者 長谷川）

#### 9-8 中学生ボランティア大会

内容：ふじみ野市（旧大井町）の中学生を対象に夏休み中の体験活動として実施。中学生が外国人と身近に知り合えてよかった。

日時：17年7月30,31日

場所：ふじみ野市大井中央公民館

プログラム：

7/30：外国人の現状、ブータンの話、外国人体験トランプ

7/31：外国から入ってきている食材を使って、外国料理を作ろう、外国人と話そう

対象：ふじみ野市内の中学生各20名

スタッフ：7名（小原、広木、長谷川、堰代、石井、山崎、ピッキー）

（報告者 石井）

#### 9-9 埼玉県防災イベント

内容 さいたま市、(株)東京電力と県内NPO団体が実行委員会を結成し、大地震等災害発生を想定した防災イベント。

日時：平成17年8月25日

場所：南浦和 ラフレ埼玉

参加：バザー、スタッフ2名

（報告者 荒田）

#### 9-10 国際ミニ交流会

内容：ふじみ野市（旧大井町）の委託イベント 大井町の住民と周辺地域に在住・在勤・在学の外国人との交流促進が目的。今回が5回目で最後のイベント

プログラム：うどんづくり、外国語ミニ体験、中国伝統芸能の花文字制作、太極拳、ゲームなど

日時：17年9月11日（日）10：～14：00

場所：大井町大井小学校体育館、大井町商工会館

参加者：合計61名（スタッフ20名、一般41名；外国人12名、日本人49名）

（報告者 長谷川）

#### 9-11 富士見市主催「国際フォーラム」に協力

内容：富士見市民と地域在住の外国籍市民との交流と異文化理解を目的に毎年実施

体験と交流のコーナー、試食とアトラクション及び在日外国人の主張の3部構成

センターは、第1部のわいわいトーク、あそびのコーナー、花文字であなたのお名前を（絵で描く書）各国の文字であなたのお名前を、世界のクイズ、第2部の各国の料理試食等を担当

日時：17年10月17日（日）12：30～16：30

場所：富士見市立ふじみ野交流センター

対象：地域在住の外国籍市民、富士見市民

参加者：約200名

（報告者 岩田）

#### 9-12「チヂミをつくろう」

内容：韓国文化（食）紹介を通じて国際交流を目的に、ふじみ野市教育委員会生涯学習課より依頼を受け、料理教室「チヂミを作ろう」という催しを行った。なお、「チヂミ」というのは、韓国流のお好み焼きのこと

第1回 2月18日（土）9:30～12:45 大井中学校 講師文王女さん（阿澄・長谷川）市民23名

第2回 2月19日（水）10:00～13:00 大井西中学校 講師金文玉さん（広木）市民25名

第3回 3月25日（土）10:00～13:00 大井東中

学校 講師金文玉さん(半田・石井)市民34名  
(報告者 阿澄、広木、半田)

9-13 台湾料理を食べながらディスカバーセンター  
内容:センターが上福岡に引越しをしてきたのをきっかけに、近隣の人たちにその活動を知ってもらうためにHANARO会の提案によりだいたい湾料理を食べながらフィリピン人や台湾人と交流してもらった。

日時:2月20日10:00~15:00

場所:ふじみの国際交流センター

参加者:近隣の日本人32名

(報告者 石井)

#### 10. ネット・協働

10-1 埼玉県内のネットワークに参加

10-1-1 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク

内容:埼玉県(国際課)・(財)埼玉県国際交流協会(事務局)市町村及び県内NGO団体で構成、情報交換や協働作業を行い、活動の効率化、県民への情報提供が目的。全体会 年3回

会議:17年度6月20日、11月28日、18年3月27日に1名参加

10-1-2 埼玉国際協力協議会(埼玉NGOネット)

内容:埼玉県内の国際交流・協力NGO(個人会員を含む)のネットワーク 会員相互の交流や連携、埼玉県国際課、(財)埼玉県国際交流協会、JICA東京、学校等との協働による、各種国際協力・国際理解教育・開発教育を主とした活動の推進。

会議・行事:月例定例会(年11回)3者会(国際課、国際交流協会との懇談会)(年6回)国際理解教育・開発教育セミナー(18年1月29日 草加、2月11日 浦和)に1名参加

10-1-3 埼玉日本語ネットワーク

内容:県内の日本語教室のネットワークで、46団体、16名の個人が会員。主に日本語の学習及びその支援にかかわる個人、団体のネットワーク作り

と情報交換が目的。埼玉県日本語教室マップの作成、年2回の交流会、高校進学ガイダンス、メーリングリストによる情報提供等を行っている。

会議・行事:高校ガイダンス、交流会に参加

(報告者 荒田)

10-2 2市1町日本語教室連絡会

内容:2市1町の日本語教室(サークル、クラス)のボランティア連絡会として1998年4月にスタート、5つの教室が持ち回りで、年4回開催している。各教室の近況報告、児童・生徒の学習支援、その他トピックスについて意見交換

開催日・主催者・場所・参加者:

4月10日ふじみの国際交流センターが主催、10名出席

7月10日大井日本語クラスが主催 大井中央公民館で12名出席

10月2日上福岡日本語教室が主催 上福岡西公民館で7名出席

18年1月15日富士見日本語サークル主催、鶴瀬西交流センター7名出席

(報告者 庄子)

10-3 バヤニーハン

内容:ふじみ野市(旧大井町)社会福祉協議会の提唱で始まったふじみ野市内のNPO法人のネットワークで情報交換・連携が目的

日時:17年9月2日(金)午後1~5時

場所:ふじみ野市大井福祉総合センター

参加者:各NPO法人代表者8名、社会福祉協議会1名

討議事項:各NPOの活動状況の報告、継続することの難しさを話し合う、冬のバヤニーハン展をどうするかについて話し合った。

(報告者 石井)

10-4 DV被害者支援ネットワーク会議

内容:県内の外国人自立支援を行っている団体間で情報交換、連携を目的としたネットワークを結

成した。第1～2回は情報交換、シェルターの利用について話し合い、第3回はDV被害者支援フォーラムを開催（蕨市）大勢のフィリピン人DV被害者の話しが聞けた。

日時：17年11月26日、18年1月18日、3月12日  
場所：センター、オープンハウス及び蕨市民会館  
参加者：オープンハウス、外国人119ネット、カフェイン及びセンターのスタッフ、11/26 13人  
1/18 11人、3/12 60人

（報告者 石井）

#### 10-5 関東弁護士連合懇談会

日時：18年2月22日（水）13：30～18：00

場所：千代田区霞ヶ関弁護士会館

内容：関東甲信越静地区国際交流協会職員100名を対象とした勉強会。外国人をめぐる法律について学習する。6つのグループに分かれて例題を持ち寄り法的にどう保障されているかを検討する。子どもの国籍について勉強できた。

（報告者 石井）

#### 11 トピックス

##### 11-1 荻野吟子賞受賞

2006年2月3日（金）さいたま新都心の「ホ

テルプリランテ武蔵野」で、埼玉県主催の「第1回さいたま輝き荻野吟子賞」の授賞式が行われ、ふじみの国際交流センターが団体賞を受賞した。

同賞は、「男女共同参画に顕著な功績のあった個人や団体、事業所を表彰し、女性と男性が個性と能力を發揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会づくりを推進する」という目的で、埼玉県が今年度から設けたものである。

（報告者 内藤）

##### 11-2 経済同友会センター訪問

2006年1月19日（木）経済同友会のメンバー18人がふじみの国際交流センターを訪れ、活動の見学やスタッフとの意見交換を行った。

来訪したのは、同友会の「NPO・社会起業委員会」のメンバーで、今回の訪問は、「在日外国人の支援、多文化共生など、社会的な課題に取り組むNPOの活動を知る」これらのNPOの活動に対し、企業/経営者として何ができるのか、新たなパートナーシップを検討する」といったことが内容となっている。

（報告者 内藤）

#### 11-3 主な来訪者・見学者リスト

月日	内 容	人数	月日	内 容	人数
5/26	ライフサポート来所	2	10/27	南浦和中学校3年生 研修	10
6/3	毎日新聞 DV取材に来所	2	11/2	埼玉新聞社取材	1
6/6	埼玉県社会福祉協議会来所	1	11/4	ロータリークラブ坂本さん来所	1
6/24	大井町社会福祉協議会来所	2	11/7	富士見市広報「インフォ」取材に来訪	1
7/19	同上	2	11/8	テレビ埼玉 センターの活動撮影	7
8/1	新座市生活保護担当職員、研修生来所	2	11/16	プチバルーン 取材に来訪	2
8/11	国税局認定NPO法人継続審査に来所	2	12/6	戸田市友好国際交流 研修	15
8/16	同上	2	1/19	経済同友会来所	18
8/17	富士見市共同参画推進室浅野さん来所	1	1/26	埼玉県共同参画課職員 視察研修	5
8/24	婦人相談センター来所	1	2/14	吉川市コミュニティ協議会委員来所	26

9/29	つるせ小学校 2年生見学	96	2/27	人間福祉総合センター職員 研修	5
10/17	埼玉県弁護士協会研修	7	3/22	札幌国際大学教授と学生 研修	6
10/20	富士見台中学校 2年研修	2	合 計		212
10/20	文京大学生 研修	1			

(報告者 長谷川、石井)

## 11-4 センターの365日

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開放日数		30	31	30	30	28	28	27	26	26	25	26	30	337
休止日数		0	0	0	1	3	2	4	4	5	6	2	1	28
来 訪 者	日本	114	119	123	105	96	241	159	109	74	130	210	137	1617
	外国	90	71	95	75	131	105	111	76	40	52	87	75	1008
	計	204	190	218	180	227	346	270	185	114	182	297	212	2625
ス タ フ	日本	218	224	224	236	211	205	203	192	167	142	188	186	2396
	外国	4	5	4	2	3	1	0	0	4	0	3	6	32
	計	222	229	228	238	214	206	203	192	171	142	191	192	2428
合計		426	419	446	418	441	552	473	377	285	324	488	404	5053

(報告者 広木)

## 12 センター運営

## 12-1 会議

## 12-1-1 総会

## ● 第7回通常総会

日時：平成17年6月5日(日)11~12時

場所：ふじみ野交流センター

- ・平成16年度事業報告及び決算の承認
- ・平成17年度事業計画及び予算の決定
- ・次期理事及び監事の選任

## ● 臨時総会

日時：平成17年11月21日

場所：ふじみの国際交流センター事務所

- ・定款変更の決定(目的 上福岡市、大井町をふじみ野市と置き換える)
- ・事務所移転の決定

## 12-1-2 理事会

## ● 第1回理事会

日時：平成17年4月23日

場所：ふじみの国際交流センター事務所

- ・平成16年度事業報告(案)及び決算(案)の承認について
- ・平成17年度事業計画(案)及び予算の決定(案)について
- ・次期理事及び監事の推薦

## ● 理事会懇談会

日時：平成17年7月10日

場所：ふじみの国際交流センター

センター事業分類、上福岡市・大井町合併への対応、事務所移転等について意見交換を行った。

## ● 第2回理事会

日時：平成17年12月10日

場所：ふじみの国際交流センター

- ・定款変更の決定(目的 上福岡市、大井町をふじみ野市と置き換える)
- ・事務所移転の決定

## 12-1-3 戦略会議

センターの具体的な経営戦略を策定し、理事会に答申する経営諮問会議（通称戦略会議）を設けた。経営方針 財務 ビジョン 企画 広報がテーマとなる。3役と数名の理事で構成し、適宜開催する。

## 12-1-4 事務局会議

新たに事務局長を任命し、事務局を置く。その役割は、組織全体の広報に関すること（センターニュース、リーフレット、ホームページ）組織全体の会計 プロジェクトの状況把握 法人報告・会計の管理 わかりやすい書類の管理 備品の管理 とする。事務局の運営を円滑に行うため、事務局会議を適宜開催する。

## 12-1-4 スタッフ会議

スタッフ会議は理事並びに会員スタッフ 22名で構成し、センターの日常活動につき相互の情報交換・連絡等を行い、センターを円滑に運営するための会議。連絡原則として毎月第1、第3火曜日に開催する。17年度は24回開催した。  
開催日時：4/5,19、5/10,17、6/14,28、7/5,19、8/2,16,30、9/6,20、10/4,18、11/8,15,29、12/13、

18.1/17、2/7,21、3/7,28

## 12-1-5 生活相談担当者会議

内容 生活相談担当者の自己研修と相互の情報交換を目的に開催。過去の事例に基づきディベート形式で意見を言い合う。入管法の改正・民法の解釈などについて話し合っている。

実施日：17年10月11日、11月15日、18年2月7日、3月7日、4月4日 10:00~12:00

参加者：担当者 10名

## 12-2 センターの役員

17年度の役員は次の通り。

理事：石井ナナエ 岩田 仁 荒田光男 阿澄康子  
小原知子 斎藤信夫 鈴木美佐子 沼田伊久俊  
長谷川正江 内藤忍 戸塚成子 高橋恭子 篠島  
幹昌 山崎友理 鄭玄淑

理事長：石井ナナエ 副理事長：阿澄康子 常務

理事：荒田光男 事務局長：内藤忍

戦略会議委員長：斎藤信夫 委員：石井ナナエ 阿澄康子 荒田光男 内藤忍 岩田仁

顧問：野元弘幸、太田裕、青木和雄、庄子一雄、樋口清作